



ぐそ 公所の「酒まんじゅう」は 美味しい出来上がりでした

「酒まんじゅう作り」の講習会を滝本早苗さんのご指導で6/17と7/24の2回開きました。第1回目は作り方のお話を聴講する予定でした。米麴を使った1~4番種の香り確かめ合うことが出来ました、続いて滝本さんのご好意により実際に「酒まんじゅう」を作るところまで体験することができ感嘆の声が聞こえました。

第2回講習会場の公所コミセン調理室は4番種の放つ香りと、蒸し上がる湯気が部屋いっぱいに広がりました。参加者延べ35人(来賓3、映像スタッフ4含む)



その後、上手くできた人は？ 9人(75%)

前種を持ち帰った人12人の内、お一人は期限超えのため甘酒とパンにして美味しく召しあつたそうです。あとのお二人はお忙しくてチャンスを逸したそうです。上出来でした！

■ 第3回 講習会のお知らせ もっと上手くなろう「酒まんじゅう」作り

- ★10月16日(日)13:00~16:00 公所コミセン料理室
 - ★定員 :15名
 - ★会費 :300円(材料込み、当日ご持参ください)
 - ★申込み :ファックス または Eメールで事務局まで
FAX293-7536 Eメールアドレス info@nanpura.or.jp
 - ★締切り :10月10日(月)
- ※初参加の方は「作り方」教材をお受け取りください。

「酒まんじゅう」作りの映像DVD製作進行中です

NPOなんぷらの「酒まんじゅう作り推進グループ」では、2回の講習会と「つくり人のお話」を映像として収録しました。年内に編集作業を終わらせる予定です。会員の皆さんにご披露する日が楽しみです。

- お料理の喜びは切れる包丁から！ 電話1本で伺います。
なんぷら磨ぎ師 谷島 TEL:276-0495まで(1本500円)

第8回 なんぷら邦画サロン “用心棒” 110分 昭和36年

- とき:10月22日(土)午後2時 上映
- ところ:公所自治会館ホール
- お茶代:300円

《作品の紹介》

- ・監督:黒澤 明
- ・主演:三船 敏郎、仲代 達也、山田五十鈴ほか
東野英二郎、加東 大介、司 葉子、志村 喬
西村 晃などお馴染みの名優が出演します。

赤城山を頂く上州のある町にふらりと現れた桑畑三十郎(三船)は対立する2つの組織に近づいて巧みに相討ちを仕掛けて行く。しかし、そこに新田卯之助(仲代)が帰郷して.....来たのです.....

《次回からの上映スケジュール》

- 11月19日 第9回 人生劇場 昭和38年
一年末はお休みします。—
- 1月21日 第10回 蒲田行進曲 昭和57年
- 2月19日 第11回 あの夏・一番静かな海(平3)

・1年間親しんでいただいた「なつかしの映画サロン」は、今回から新しく「なんぷら邦画サロン」と名称を改め、第3土曜日の上映となりましたので宜しくお願いします。

秋のコーヒーショップ カフェ・ド・オータムはお休みです

春に202人のお客様で賑わいました境川リバーサイドのお店。NPOシニアネットワークさがみの理事長さんから、今秋はお休みするという連絡がありました。理由はお迎えするシャロームつきみ野さんのご高齢者には季節的に寒気が無い込むから暖かくなる季節にしたいと云うことでした。お店のボランティアを楽しみにしていた会員の皆さんには、残念ですが春のコーヒーショップまでお待ち下さいませよう。

10月のイベント

NPO 法人シニアネットワークさがみでは、10/15(土)13:30~15:00、シャロームつきみ野において「公所の昔話」を聴く会を開きます。ゲストスピーカーは佐藤利雄(高木地区)さんと瀧本寛(下村地区)さんです。入場は無料です。

＜人材ネットワークサービス の動き＞

■ 6～9月の活動

①②M 家及びT家の庭木の伐採と手入れ作業、③ざんなん農園の手入れと見回り、④家具転倒防止設置作業、⑤県立大和西高にてスクールエコ・リユース作業に参加、⑥なんぷら農園の耕作者の交代打ち合わせ。⑦⑧T 家の遮光ネット設置及び庭の草取り、⑨タオル帽子作り夏季講習会(中央林間コミセン)、⑩包丁砥ぎ、⑪雨水タンク設置支援、⑫なんぷら農園会議など

■ ざんなん農園 収穫期を迎えました

★収穫作業の参加者を募集します。

今年の生りの量は少ないようです。しかし、よく観ると一粒一粒は良い出来上がりです。収穫作業に参加を希望される方は事務局までご連絡頂ければ有難いです。なお、作業の予定は次の通り進める予定です。なお、作業のお手当は、後日なんぷらの規定に準じてお支払いすることになっています。

- ①10月中旬、約4時間:ざんなん落しと収穫、水付け作業
- ②10月下旬、約4時間:皮取りと水洗作業
- ③10月下旬から11月上旬 約4,5日 :天日干し
- ④11月上旬 袋詰め、頒布

■ 今回のざんなんは会員優先で頒布します

○ 予約の申込みはお早めに願います

★料 金:1袋 ¥300-と ¥500-の2種類です。

★申込み先:事務局まで FAX:293-7536

e-メール: info@nanpura.or.jp

※お申込み順に頒布いたします。品切れのときはお断りしますので、あらかじめご了承ください。

■ 茶道の体験でリフレッシュはいかがですか

会員の末廣夫人から次のような茶道の体験会の案内が届きました。秋の静かなひと時をあなたの心と体が悦ぶことをしてあげましょう。

と き:10月5日(水曜日)14:00~17:00

10月19日(水曜日)10:30~13:30

ところ:公所コミセン 2階和室

講師:表千家 末廣 宗光(資格者)

会費:1000円

濃茶、薄茶 各一服ずつ 生菓子、干菓子付き

その他:替え靴下、懐紙(お持ちの方のみ)

和室は茶室風に模様替えます。お入りになるときは、靴下をはき替えて頂きます)なお、茶会は10月30日にも開きます。

＜東日本大震災復興支援活動＞

目黒のさんまつり実行委員会の仲介で社団法人 気仙沼復興協会へ次の品物を寄付しました。

①スズキ軽トラック(中古、車検2年付)1台

②冷蔵庫、③洗濯機、④マウンテンバイク各1台

公所自治会にお貸していた軽トラックが戻ってきて、なんぷらの人材ネットワークサービスの作業車として試用していました。古い車とはいえ、とても便利で役に立ってくれて何軒かの庭仕事に出勤。これをもっと有効に使う方法はないか思案しているとき「東日本大震災の被災地でさらに役立つのではないか」と思いました。早速、できれば人づてを通した受け入れ先を探したいと当たっていました。業者の支援ルートでは車の年式が古いということで断られたりもしていました。しかし、

ボランティアの皆さんの話として現地での窮状が如何に酷いものか聞かされ、なんとか軽トラックを早く届けて役立ててもらいたいと願っていました。映画サロンでお世話になっている村山さんは気仙沼の事務所を津波で流出のことを思い出しが相談したところ、「目黒のさんまつり」を紹介され直ちに実行委員会とコンタクトでき、それからほとんど拍子で進みました。

このことを会員のOさんに打明けましたら、新しい冷蔵庫と洗濯機の提供をいただき、9月18日(日)さんまの焼ける煙の漂う目黒の会場でお引き渡しすることができました。

1週間後、早速復興協会の活動に軽トラックが元気で参加しているというメールをいただきました。なお、これまでに寄せられた義捐金は年内にお届けします。

■ 公所のそば(手打ちうどん)を作ります

・と き:11月23日(勤労感謝の日)14:00~17:00

・ところ:松鈴庵(仮称)を予定

・参加費:500円(お飲み物は持参)

・申込み:事務局へ電話又はEメールでお早めに。

昨年の暮は公所自治会館にて、お鍋を囲み楽しく過ごしました。今回は地元につながる“そば”打ちを習って味わいたいと思います。誘い合わせてお出かけください。

＜あ と が き＞

今年も余すところ1/4となりました。日本列島は災害に続く災害。なんと云っても原発事故では、子々孫々に亘る被害が心配されます。日本人の遺伝子への影響は最小限に止まって欲しいものです。

人と人との繋がり、絆が大切な昨今ではないかと思えます。なんぷらの「なんでもプラス」方向に考え、受け止めて行動しようとする姿勢、手と手を、心と心を、ふれあうネットワークを日々の暮らしの中に気づく幸せを分かち合いたいと思います。